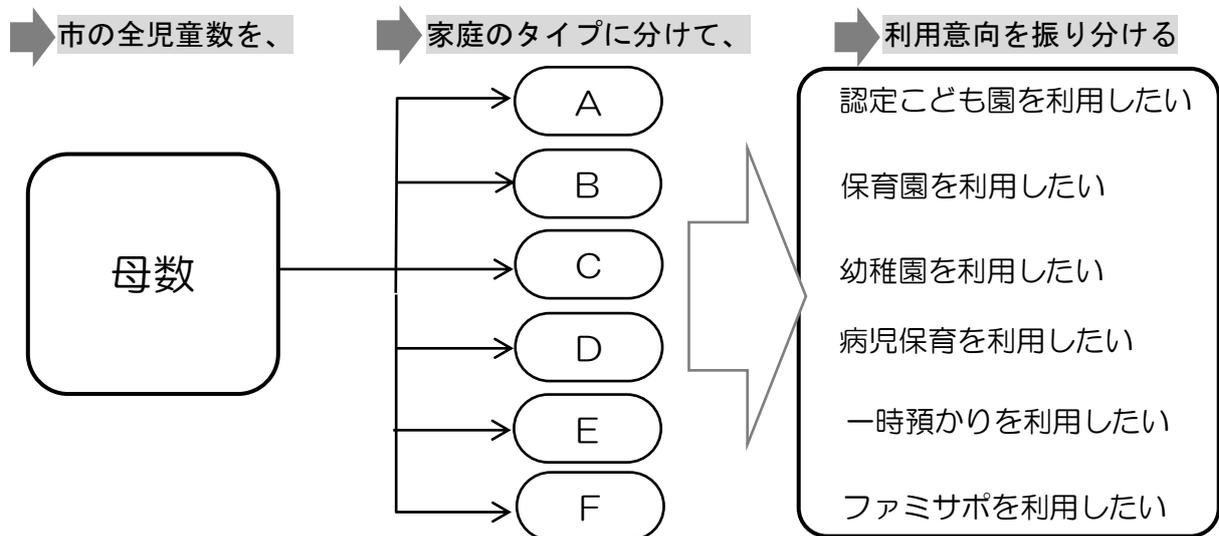
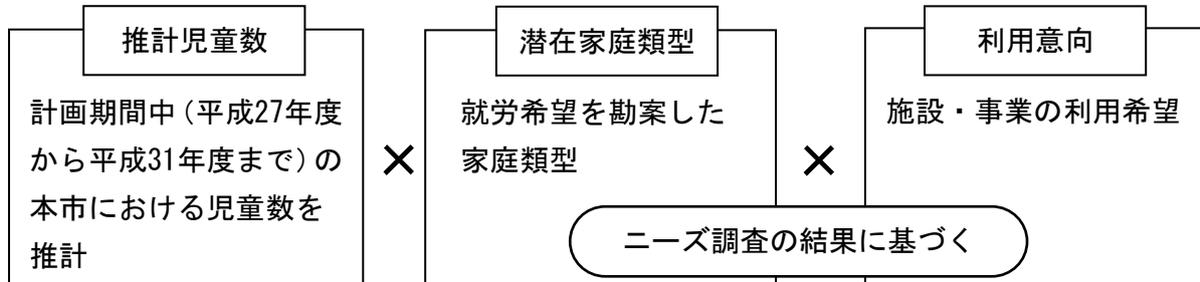


■ 病児・病後児の見込量の算出について

1 「国の手引き」で示された量の見込みの基本的な算出方法



家庭類型	備考
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月 120 時間以上+下限時間～120 時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満+下限時間～120 時間の一部)
タイプD	専業主婦(夫)
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月 120 時間以上+下限時間～120 時間の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満+下限時間～120 時間の一部)

病児・病後児保育事業①

- ① 対象児童年齢 : 0～5歳以下
 ② 対象潜在家庭類型 : A+B+C+E
 ③ 量の見込みの算出方法 :

保育の必要性がある家庭の推計児童数 (潜在家庭類型A・B・C・E) × <利用意向日数> 上記回答者の問16-2の「1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい」の日数合計の平均
--

《利用意向日数》

A	4.11日
B	4.01日
C	2.00日
E	0.00日

- ④ 提供区域 : 全体
 ⑤ 量の見込み :

(単位:人日)

実績			見込み				
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
941	991	1043	6326	6377	6187	6034	5869

病児・病後児保育事業②

- ① 対象児童年齢 : 0～5歳以下
 ② 対象潜在家庭類型 : A+B+C+E
 ③ 量の見込みの算出方法 :

保育の必要性がある家庭の推計児童数 (潜在家庭類型A・B・C・E) <控除①> ・問7の「日常的に祖父母等の親族に見てもらえる」に回答した人 × <利用意向日数> 上記回答者(控除後)のうち、問16-2の「1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい」の日数合計の平均 ※ただし、希望日数(年間)の上限を50日に設定

《利用意向日数》

A	2.97日
B	3.18日
C	1.56日
E	0.00日

- ④ 提供区域 : 全体
 ⑤ 量の見込み :

(単位:人日)

実績			見込み				
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
941	991	1043	4647	4654	4545	4434	4312

病児・病後児保育事業③

- ① 対象児童年齢 : 0～5歳以下
 ② 対象潜在家庭類型 : A+B+C+E
 ③ 量の見込みの算出方法 :

《利用意向率》

H25年度の滝沢市の病児・病後児保育事業の平均利用日数
 実利用回数／実利用人数=3.5回

A	24.6%
B	34.9%
C	25.2%
E	0.0%

×

H27～H31の各年度の人口推計値

×

＜利用意向率＞
 ・問16-2の「1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい」の割合のうち、下記の控除をおこなった割合

|

＜控除①＞
 ・問7の「日常的に祖父母等の親族に見てもらえる」に回答した人

- ④ 提供区域 : 全体
 ⑤ 量の見込み :

(単位：人日)

実績			見込み				
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
941	991	1043	2165	2168	2117	2064	2008

病児・病後児保育事業④

- ① 対象児童年齢 : 0～5歳以下
- ② 対象潜在家庭類型 : 類型は不問
- ③ 量の見込みの算出方法 :

H25年度の滝沢市の病児・病後児保育事業の実利用回数 991回

÷

H25年度の滝沢市の対象児童数（0～5歳児） 3139人（H25.10.30時点）
--

×

H27～H31の各年度の人口推計値

- ④ 提供区域 : 全体
- ⑤ 量の見込み :

（単位：人日）

実績			見込み				
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
941	991	1043	861	862	842	821	798

※人口増減の変化のみを見ているため、少子化の現状にあっては、量の見込みは減少傾向となります